

2008年12月31日(水曜日)

県政フラッシュ 2008年

マニフェスト「福井新元気宣言」の4つのビジョン「元気な社会」、「元気な産業」、「元気な県土」、「元気な県政」に沿って、平成20年の県政をご紹介します。

元気な社会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

福井の実情に応じた教育を

「教育・文化ふくい創造会議」の提言に基づき、4月に「元気福井っ子新笑顔プラン」を策定しました。子どもたちの可能性を最大限に伸ばそうと、県独自の少人数教育を推進し、各学年の特性を踏まえた学級編制を行っています。

4月に実施された全国学力・学習状況調査では、昨年に引き続き中学校が1位、小学校が2位という全国最上位の結果でした。全国から関心が寄せられているため、本県の教育の優れた点を分かりやすく紹介するパンフレットを作成。県外の教育関係者へのPRに活用します。

白川文字学で基礎学力UP

漢字に興味を持ち、楽しく学ぶには、文字の成り立ちや意味を考えながら理解することが大切。本県出身の白川静博士が体系化した「白川文字学」を活かした独自の漢字教育を、県内全ての小学校で4月から新たに行っています。



「白川文字学」を取り入れた漢字学習の様子

おいしい給食で食育活動

子どもたちに、よりおいしい学校給食を食べてもらおうと、食育ボランティアと栄養教諭が協力し、福井の食材を取り入れた給食を提供しています。



放課後に体育館で元気に体を動かす子どもたち

スポーツ大好きっ子の育成

子どもたちが運動する習慣を身に付け、健やかに育ってもらうため、地域の人たちなどの指導を受けながらさまざまなスポーツを体験する「スポーツ大好きっ子育成事業」を展開。来年度には県内全ての市町へと活動の輪を広げていきます。

サイエンス教育の充実

理数好きの子どもを育てようと、放課後や夏休みなどに観察や実験などを行う「ふくいサイエンス寺子屋」を展開しています。また8月には、ノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士から指導を受ける「スーパーサイエンスフォーラム2008」を開催。さらに、中高生を対象とした「ふくい理数グランプリ」の開催など、科学の面白さややる楽しさを知る機会を増やしていきます。

本県出身の物理学者・南部陽一郎博士がノーベル物理学賞を受賞しました。福井県出身者のノーベル賞受賞は初めてです。



液体窒素で凍った花に、子どもたちは興味津々

WRO 2008 福井エキシビジョン大会を開催

小・中・高校生によるロボット国際競技会「WRO 2008福井エキシビジョン大会」を11月に開催。海外5か国8チーム、県内22チームが参加し、缶倒しや坂道、トンネル通過などでロボットの性能を競い合いました。



海外選手と自作ロボットの性能を競い合う子どもたち

女性活躍社会

みんなで協力 ママ・ファースト運動

妊娠中の方や子ども連れの家族を優先し、子育てにやさしい社会をめざす「ママ・ファースト運動」。3月から、18歳未満の子供が3人以上いる家庭を対象に、「すまいるFカード事業」を開始しました。買い物などで割引や特典を受けることができます。

家族みんなでもとに過ごす「家族時間」

学校、企業、地域などが協力し合いながら社会全体で「家族時間」を伸ばす県民運動を展開しています。平日に家族みんなで夕食がとれるよう、毎月第3日曜日の翌日を「放課後活動定休日」としたり、全小中学校で家族が参加できる行事や講座を実施しています。

こども家族館オープン

家族の交流の場として「福井県こども家族館」が、8月、おおい町の「うみんぴあ大飯」内にオープン。大型帆船やボールプール、クッキング工房など、遊び・学び・体験の場が盛りだくさんです。ぜひお越しください。



大型帆船「こども探検号」と日本最大級のボールプール

イキイキ・長生き「健康長寿」

がん予防・治療日本一に向けて

県立病院において最先端のがん治療を行う「陽子線がん治療施設」の建設が始まりました。平成23年3月から治療を開始予定です。副作用が少なく、高い治療効果が期待される陽子線がん治療やがん検診の促進によって、「がん予防・治療日本一」をめざします。

陽子線がん治療施設を全国にPRしようとして、今年、保険会社と協力協定を締結しました。

女性医師支援センターがオープン

出産、育児後の職場復帰を希望する女性医師を総合的に支援する「ふくい女性医師支援センター」を福井県医師会館内に設置。仕事と家庭の両立を支援することで、医師確保につなげていきます。

みんなの手によるあたたか福祉

気軽にスポーツのできる環境づくり

障害のある人たちがスポーツを通じて交流の輪を広げ、心も体もリフレッシュできるよう、地域の体育施設を活用したスポーツ教室を開催しています。また、専門のコーディネーターを配置し、相談や情報提供を行っています。

9月開催の北京パラリンピックで、本県の高田稔浩さんが3つのメダルを獲得する活躍をしました。

日本一の安全・安心をめざして

子どもたちの安全・安心のために

不審者から子どもたちを守るため、登下校中の小学生を見守る「子ども安心3万人作戦」を展開しています。また、今年からは見守りの対象を中学生に拡大し、地域や学校が一体となったパトロール活動などを行っています。

建物の耐震化を

県民の皆さんの安全・安心を守るため、公立小中学校の耐震補強工事の補助率引き上げなどを行い、地域住民の避難場所にもなる学校の耐震化を進めています。また、私立学校や社会福祉施設の耐震診断についても支援を行っています。

元気な産業

地域を支え世界に広がる福井の産業

緊急経済対策を実施

世界的な景気後退による本県経済への影響に対応するため、6年ぶりの12月補正予算や緊急の経済・雇用対策連絡会議において、中小企業の資金繰りの円滑化や雇用確保・促進対策を決定しました。その他にも、原油・原材料高騰やガソリン税等の税制改正などに迅速に対応してきました。今後も機動的に経済・雇用対策を実施していきます。

県外大手企業との商談会を開催

「ふくい新技術・新工法展示商談会」を、11月、コマツとスズキで開催。県内企業の優れた技術や製品を提案し、新たなビジネス創出を図りました。来年1月にはシャープでも開催する予定で、県内企業のビジネスチャンスの拡大を支援していきます。



都市圏での観光客誘致キャンペーン

新ビジットふくい推進計画の策定へ

県外からより多くの観光客を誘致するため、新たな観光振興の戦略を盛り込んだ「新ビジットふくい推進計画」。現在、県民の皆さんや有識者の方などからいただいたご意見をもとに、とりまとめを行っています。

力強いプライドの農林水産業

広がる 福井の食ブランド

福井の食ブランドにさらに磨きをかけようと、素材の特長を活かした加工品やメニューの開発を進めています。また、大都市圏で本県食材をPRする「食のアンバサダー」の委嘱や大手企業との共動によって、県外へのビジネス展開を進めています。

地域農業サポートセンターが始動

中山間地域や都市近郊など、不利な条件での農業を全県的に支援する全国初の「地域農業サポート事業」がスタート。農家からの相談に応じて、田植えや稲刈りといった農作業の支援などを行っています。

第60回全国植樹祭に向けて

「第60回全国植樹祭」の本県開催日が、来年6月7日(日)に決定しました。当日の式典では、県内の高校生が司会をする

ほか、女優の貫地谷しほりさんの出演も決定。現在、会場整備や式典内容の検討などの準備を進めています。

また、木工教室やフットパス体験、花壇作りなど、気軽に自然に親しむことのできる県民運動を展開しています。一緒に植樹祭を盛り上げていきましょう。



開催日が決定した8月28日、幼稚園児が参加して
カウンタウンボードが設置された

県民が目玉

高速交通時代のにぎわい交流まちづくり

北陸新幹線の整備へ大きく前進

年末の政府・与党ワーキンググループにおいて金沢・福井間および敦賀駅部の新規着工などが合意されました。平成21年度政府予算案にも、未着工区間についての事業費などが計上され、県内整備に向け大きく前進しました。



来年2月に完成する福井駅部
8月に行われた催しでは、
約120人の親子が高架橋を見学。

高規格幹線道路の整備が進捗

舞鶴若狭自動車道は平成26年度の全線開通に向け用地買収や工事が順調に進捗。また、中部縦貫自動車道は10月に勝山・大野間の工事が着手され、20年度末には上志比・勝山間の開通が予定されています。

空の玄関口がぐっと近くに

小松空港へのアクセス改善のため、北陸自動車道の安宅PAにETC専用のスマートICを試験的に設置。また、空港連絡バスのルート変更と福井北IC付近のパークアンドライド用駐車場整備により、アクセス時間が最大15分短縮されました。

カー・セーブを推進

過度なクルマ利用を見直すため、毎月第2、第4金曜日を「カー・セーブデー」とし、公共交通機関での通勤が割引になる制度や、パークアンドバスライド用駐車場の整備などを実施。また、鉄道やバスの路線や運賃を検索できる「ばす・でんしゃナビふくい」の運用を開始しました。



送り迎えのためのクルマの使用を抑えるため、直行バスで通学する生徒たち

福井豪雨からの復興

平成16年の福井豪雨災害からの復旧工事が進み、今月には足羽川の木田橋の供用が開始され、来年2月には泉橋が開通予定です。

世界に羽ばたく福井の港

国際物流の拠点を目指して国とともに整備を進めている「敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル」の一部を供用開始しました。また、福井港は、今年開港30周年。今後とも、世界に開かれた港として、地域の活性化に貢献していきます

河野海岸有料道路が無料化

南越前町河野から敦賀市大比田までを結ぶ「河野海岸有料道路」が無料化されました。今後、「越前・河野おかげライン」の愛称で国道8号の迂回路としての利便性の向上や、海岸の景勝を活かした観光ルートとしての活用が期待されます。

元気な県政

夢と誇りのふるさとづくり

新たな環境基本計画を策定

今年新たに策定した環境基本計画では、「自然」、「生活」、「人づくり」の3つの視点から、「地域と共動した子ども自然体験」、「ストップ乗りすぎ」、「ものを大切にする社会づくり」など、10のプロジェクトで全国に先駆けた活動を行います。また、「環境ふくい県民会議」を設け、県民の皆さんと共動して計画を推進し、美しい福井の環境を守り育てていきます。

福井の恐竜を世界に発信

国内で発掘される恐竜化石の約8割を出土する「恐竜王国」福井。7月、歯4本がついた恐竜の上あごの骨化石が発見されました。小型獣脚類のほぼ完全な状態での発見は国内初。今後も福井初の新たな発見が期待されます。



発見された上あごの骨化石

新ふくい人を誘致

本県を新たなふるさととする「新ふくい人」が増えています。今後も、多くの方に福井に定住してもらえるよう、福井の生活を体験する「ふるさとワークステイ」の実施や県外での就職説明会の開催など、福井暮らしの魅力をPRしています。

「ふるさと納税」制度がスタート！

本県が提唱した「ふるさと納税」がスタート。県外にお住まいの方も寄付という形でふるさと福井を応援しやすくなりました。全国の自治体の活動状況などを紹介する「ふるさと納税情報センター」の開設など、提唱県として全国のモデルとなるにふさわしい取り組みを行っています。



AOSSAでふるさと納税をPR

福井城址に新名所誕生

「ワンコインサポーター」などの寄付と、宝くじの収益金によって復元整備を進めていた御廊下橋が3月に完成。今後は、より多くの方に気軽に福井城址を訪れてもらうため、天守台跡に傾斜の緩やかな階段を整備します。



県民と協働で復元された御廊下橋

全国初の女性だけの落語大会を開催！

「女性落語発信の地」として福井を全国にアピールしようと、9月に、女性だけの初の落語大会「『ちりとてちん』杯ふくい女性落語大会」を開催。全国から多くのアマチュア女性落語家が集い、練習の成果を発表し会場を沸かせました。

その年に話題になった人、団体などに贈られる「小学館DIMEトレンド大賞」の特別賞を福井県が受賞。「ふるさと納税」の提唱や学カテスト全国最上位、連続テレビ小説「ちりとてちん」の放送などで本県に話題が集中したことが評価されました。

行財政構造改革

県政のレベルアップ

全国に誇れる地域づくりを行うため、県と市町が共同して「市町振興プロジェクト」を策定。8つの市や町で、それぞれの特徴を活かしたまちづくりを支援しています。

質の高い政策をめざすスリムな県庁

自動車税などのコンビニ納税や、県立病院診療費のクレジットカード払いなど、より便利になるようシステムを改善。また、皆さんに効率的な行政サービスを提供できるよう、出先機関の再編を行いました。

 **BACK**